

2021年度 新入社員意識調査

2021年6月29日 東京商工会議所 研修センター



期間

2021年3月26日~4月23日

対 象

2021年度 研修センター主催 新入社員ビジネス基礎講座 受講者870名を対象にし、791名が回答(回答率90.9%)

趣旨

2021年度新入社員の就職活動の感想、社会人生活や会社に求める環境などに対する意識を把握するために実施

方法

Webアンケートシステムを利用

回答者の属性

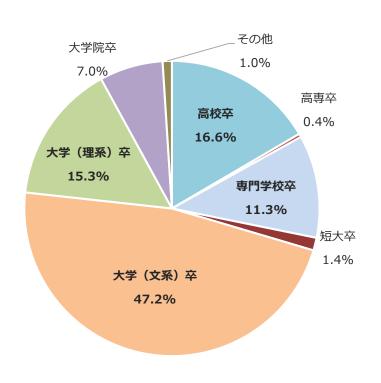
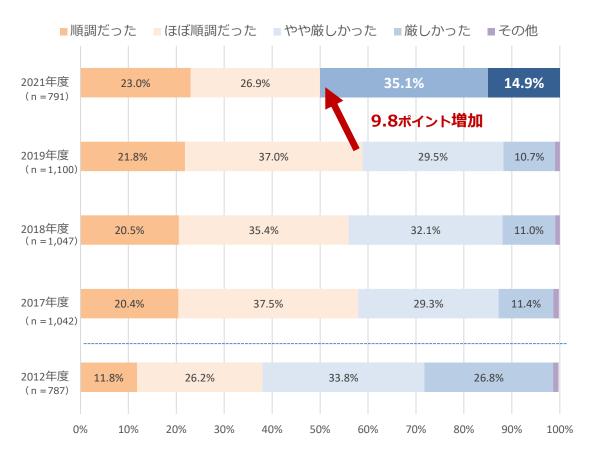


図1. 学歴別回答者割合 (n=791)



「厳しかった」「やや厳しかった」の割合が増加に転じた

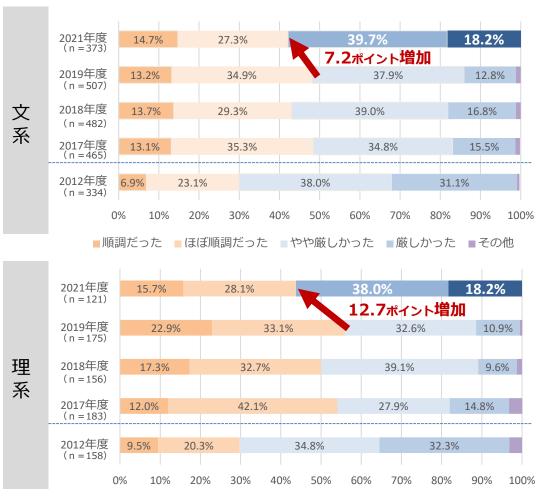


- ・近年横ばいで推移していた「厳しかった」 「やや厳しかった」と答えた割合が増加に転じた
- ・「厳しかった」「やや厳しかった」と答えた 割合の合計は50.0%となり、2019年度と 比較して9.8ポイント増加となった
- ・2021年度の結果は、コロナ禍の 影響が回答割合にも反映された形ではあるが、 東日本大震災直後の2012年度ほどの 厳しい数値とはならなかった

図 2. 就職活動の感想 (2012・2017~2021年度) ※2020年度は調査実施せず



大学卒 文理ともに 「厳しかった」「やや厳しかった」の割合が増加に転じた



- ・大学卒において、近年横ばいで推移していた 「厳しかった」「やや厳しかった」 と答えた割合が増加に転じた
- ・2019年度と比較して「厳しかった」
 「やや厳しかった」の割合の合計値は
 文系では7.2ポイント増加
 理系では12.7ポイント増加となった

図3. 大卒文理別 就職活動の感想 (2012・2017~2021年度) ※2020年度は調査実施せず

4

1人あたり平均内定企業数 (大学卒)



平均内定企業数は全体的に減少に転じた



・近年横ばい傾向にあった平均内定数は、 大学卒で文系理系ともに、**減少に転じた**

図 6. 1 人あたり平均企業内定数 (大学卒) (2016~2021年度) ※2020年度は調査実施せず



「日程・時間の調整に苦労」は増加 「費用面の苦労」は減少した

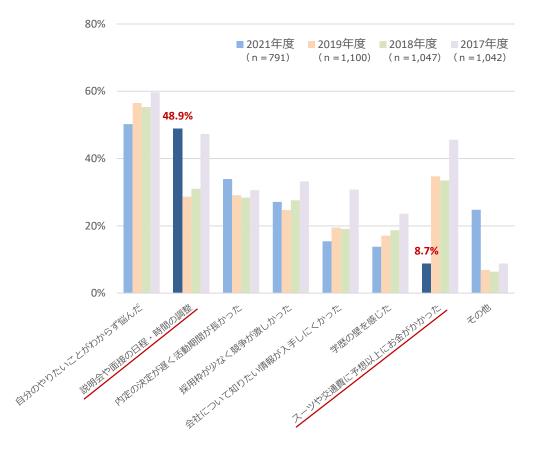


図4. 就職活動で苦労したこと (2017~2021年度) ※2020年度は調査実施せず

- ・就職活動で苦労したことの内容が変化した
- ・例年最上位であった「自分のやりたいことがわからず 悩んだ」が今年度も最上位となった
- ・近年減少傾向にあった「説明会や面接の日程・時間の調整が難しかった」が48.9%となり、2017年並みに戻った
- ・例年ランキング上位にあった 「スーツや交通費に予想以上の費用がかかった」が **8.7%**となり、最下位に転じた
- ・2021年度の「その他」の回答の多くは、 『オンラインによる面接・説明会への対応に苦労した』 という内容だった

オンラインによる就職活動で苦労したこと



「面接中の対応」「通信環境」「企業の雰囲気の分かりにくさ」の3点に苦労した声が多数

・目線・話すタイミングなど、面接中の対応が難しい(99件)

「自分の身なりや雰囲気等が伝わりにくかったイメージがある。また、同様に相手側の雰囲気も伝わりづらかった。」
「人の目ではなくカメラを見て話さなくてはならないことで、言葉を伝えてる意識があまり感じられなかった。」
「企業の方の雰囲気が読みづらく、話すタイミングが難しかった。温度感がお互いに掴みにくかった。」
「オンラインだと気軽に質問をできないことが多かった。」

・通信環境・周囲の環境・機材の整備に苦労した(83件)

「企業ごとに使う面接ツールが違うため、それぞれの対応に苦労した。」
「Wi-Fi環境が整っていなかったので、環境を整えるのに時間と費用が掛かった。」
「音声や映像に問題が発生したときに、印象が悪くなっていないかと不安を感じた。」
「オンライン面接等で、自宅内で映る背景や音などを気にするのが大変だった。」
「自宅付近の騒音が酷く、面接を受けられる環境ではなかった。」

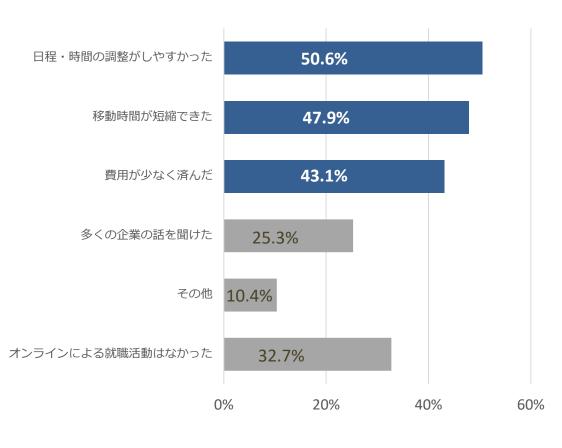
・会社の情報・雰囲気が分からない(40件)

「会社の方に実際にお会いすることができないので、雰囲気が分かりづらかった。」 「会社の雰囲気が分かりずらく、会社の情報を得ることが難しかった。」 「同じ企業を希望する人の周りの空気がわからなかった。」

オンラインによる就職活動でよかったこと



「日程調整」・「移動時間」・「費用面」に回答が集まった



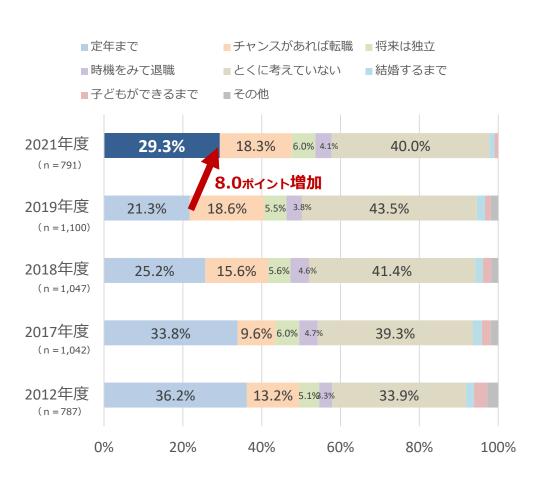
- ・"就職活動で苦労したこと"でも上位にあがった 「日程・時間の調整」が最上位になった
- ・「移動時間の短縮」・「費用が少なく済んだ」が 上位となった
- 「オンラインによる就職活動はなかった」 の割合が約3割となった

図5. オンラインによる就職活動でよかったこと (2021年度) (n=791)

今の会社でいつまで働きたいか



「定年まで」の割合が増加したが、依然として転職・独立志向もあり



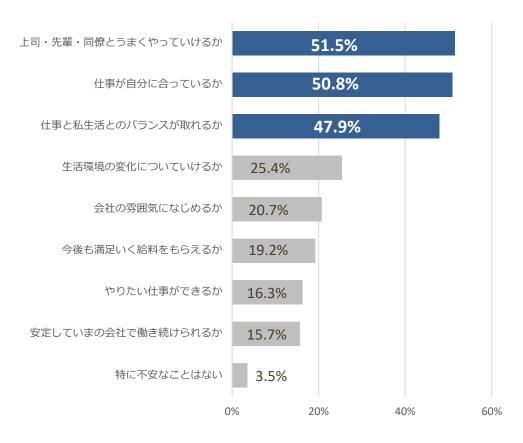
- ・近年減少傾向にあった「定年まで」が29.3%となり2019年度と比較し、8.0ポイント増加となった
- ・「とくに考えていない」は40.0%となり、 今年度も最上位となった
- ・入社時点の「チャンスがあれば転職」「将来は独立」 「時機を見て退職」の合計値は、28.4%となり、 2019年度と比較して同水準であった

図7. 「今の会社でいつまで働きたいか」回答割合の推移

(2012・2017~2021年度) ※2020年度は調査実施せず



人間関係・仕事の適性・私生活とのバランスを不安に感じる割合が多い

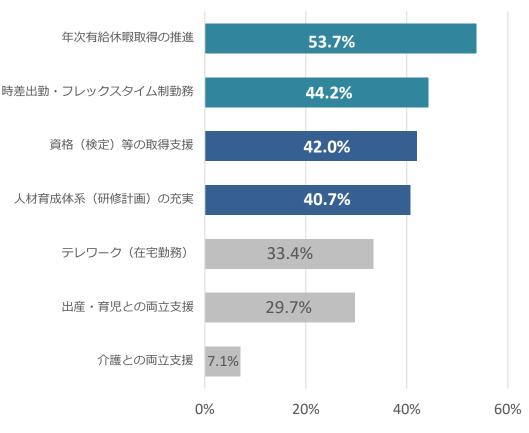


- ・「上司・先輩・同僚とうまくやっていけるか」が 51.5%で最上位となった
- 「仕事が自分に合っているか」「仕事と私生活のバランスが取れるか」も同水準で上位となった

図8. 社会人生活で不安に感じること (2021年度) (n=791)



働き方・成長環境に関する制度に魅力を感じる割合が多い



- ・働き方改革にも関係する「年次有給休暇取得の推進」、 「時差出勤・フレックスタイム制勤務」が上位となった
- ・「資格(検定)等の取得支援」、 「人材育成体系(研修計画)の充実」など、 入社してからの成長環境に関する制度も上位となった

図9. 魅力に感じる企業の制度 (2021年度) (n=791)

挑みつづける、変わらぬ意志で。

